

# 渉外委員会

委員長 伊藤 佑輔  
副委員長 中野 雄介

## 1) 基本方針

1 青年会議所活動の中で各地に赴くことや、様々な人々と交流をすることには多くの学び  
2 や気付きがあり、それが個の成長を促します。成長の機会は誰にでも平等に与えられていますが、最大限に活かすかどうかは個人の熱意と行動次第です。そして、まだ成長の可能  
3 性を秘めた会員がいることも事実です。そのため、会員全員が自分自身の成長の可能性に  
4 気づける環境を整えるとともに、機会を自ら掴み取ろうとする姿勢を育むことが必要です。

5 まず、賀詞交歓会では日頃のご支援への感謝に加え、先輩方や出席者の方々との積極的  
6 な交流を通じて四日市青年会議所に期待される姿や、評判を知る機会とします。そして、  
7 視野を広げるために、各地会員会議所との交流や公式事業等に多く触れることで知見を広  
8 げ自らを見つめ直す機会とします。これらの交流や事業に触れることが誇りや問題意識を  
9 持つことを可能にします。そのため、公式事業等や対外への積極的な参加を推進するため  
10 に、各会員に楽しみや学び、意義を周知します。参加が難しい会員には現地での経験を記  
11 録し共有することで、次回参加への意欲を高める仕組みを作ります。さらに、会員同志が  
12 これらの経験を共有し意見を交換できる場を設けることで学びを最大化して四日市青年  
13 会議所全体の成長へつなげます。また、姉妹締結 40 周年を迎える雨港国際青年商會との  
14 交流の中で互いの歴史を振り返る記念式典と、より良い未来を創る調印式を行うことでグ  
15 ローバルな知見を得ます。そして、これらの活動を一番身近で支えてくれる方々に感謝の  
16 意を示すために、11 月に例会を実施して今後も応援したいと思ってもらえる団体となります。

17 このようにして、一人ひとりが積極的に機会を掴み成長します。その上で、会員同士が  
18 切磋琢磨し更に成長を目指す姿は格好良いと全員が思えた時、今はもちろん未来において、  
19 各々が四日市青年会議所をもっと力強くするかけがえない道標となると確信しています。

20

## 2) 事業計画

21 1. 賀詞交歓会	1 月 13 日
22 2. 11 月度例会(家族例会)	11 月 23 日
23 3. 公式事業窓口 (京都会議、ASPAC、サマーコンファレンス、東海コンファレンス、 24 三重ブロック大会、全国大会、世界会議)	
25 4. 雨港国際青年商會姉妹締結 40 周年記念式典	5 月 14 日
26 5. 雨港国際青年商會姉妹締結 40 周年調印式	5 月 15 日
27 6. 出向者への支援	通年
28 7. 同好会への支援	通年
29	
30	
31	
32	

## 3) 事業予算

576,000 円

## 4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日